

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学（新約聖書）	1	後期	必修	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、前期に培った旧約聖書の知識を土台として、イエス・キリストの生涯を中心に新約聖書の概要を学び、キリスト教が世界の文化に与えた影響を学ぶことを目的としている。後半では、グループごとに関心のあるキリスト教に関するテーマのResearchを行い、プレゼンテーションを行う協働学習を行なった。また、最後には1年間の学びのまとめとして建学の精神である「感恩奉仕」について個人が考察した。毎回の授業では聖書の輪読や紙芝居、DVD鑑賞やディスカッション、発表など、様々な形で学生が参加できるよう学びの形態を工夫した。</p> <p>②毎回授業の最後に記入するクラスポートフォリオ、毎回のチャペルの感想回収、教会訪問レポートにより、キリスト教の学びの全体像を把握した。</p> <p>③学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、一年間のキリスト教の学びの振り返りを行う作業をした。学びの振り返りと共に、西南女学院生としてのアイデンティティの形成、意識が高まった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果は、自分なりの目標を達成した(3.8)、知識理解に関しては(4.0)であった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの視聴率約80%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、新約聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言えます。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標がやや達成されたと言えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性  
本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「旧約聖書」の学びを踏まえ、展開している。旧約聖書の学びを前提としての発展的な学びとして新約聖書の学びを深めるだけでなく、チャペルや教会訪問を通して全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性  
新約聖書の内容を視覚教材を取り入れながら学び、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、学生たちが意欲的に取り組んだ。グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価についての平均値は(4.1)であった。説明が理解しやすいものであった(4.0)は、学生との双方向のコミュニケーションを工夫したことによると言えよう。  
本講義は、キリスト教に興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」が(4.2)、「学生の意見を受け付け、それに答える機会が作られていた」は(3.9)であったが、2年次以降も建学の精神の土台となる聖書に日常的に親しむことができるよう、授業以外でも自ら聖書を開けるような促しをしたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

建学の精神の土台を学ぶための必修科目の位置づけであり、本学の要となる科目であるが、旧約聖書を土台に発展的に展開していく上で、旧約での学びが重要である。旧約の復習も講義に加えつつ、通常では、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。学生が意欲的に協働学習に取り組むことができたことに感謝したい。引き続き、学生の興味関心を引き出し、聖書を身近なものとして日常的に読むよう促していきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と文化	2	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、キリスト教で学んだ知識をもとにキリスト教に関する視野を広げていく内容である。キリスト教の歴史を概観した後、聖書を土台とした芸術作品の鑑賞、キリスト教音楽や文学作品を味わうことによって、キリスト教を土台とした文化について視野を広げた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関して、また到達度自己評価の平均値の平均は3.6ポイントであった。トータル成績の平均値は約80%以上。聖書を土台として西洋の文学作品・芸術作品に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。また、チャペルレポートの提出やクリスマス礼拝への参加は95%以上であり、コメントカードの内容と感想文の内容から、チャペルや教会訪問を通し、下記のキリスト教の価値観を養うことができる、という行動目標も達成された。</p> <p>1. 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察できる。</p> <p>2. キリスト教に関連するテーマを調査し発表を行い、教養を養うことができる。</p> <p>3. チャペルや教会訪問を重ねることを通し、キリスト教の価値観を養うことができる。☑</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はキリスト教学を終え、更にキリスト教について深めたい学生が中心に受講している。本学の要となる聖書の内容を学ぶキリスト教学の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであり、文学や芸術に関して幅広く扱っているが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本講義は、キリスト教の学びをより深めたい学生の興味に応じることが重要である。授業の質評価の平均は4.4ポイントであったが、引き続き、学生たちが主体的に意見交換ができるような進め方を工夫したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

講義としては質評価の結果に表れているように妥当であったと言える。今後は他学科の受講生との多角的な意見交換ができるような方法を工夫したい。8コマという短い期間の中で知識を伝えながら協働学習をすることは難しいので、今後、新カリキュラムに移行する際には、グループでの発表を行う機会を設けることができればと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナーII	1	後期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1.観光文化学科にて前学期に実施される初年度セミナーIに引き続き、大学での学修について理解を深める講義とした。教材を利用しつつ、より理解が深まるように参画意識を持たせた。</p> <p>2.グループ学習を取り入れ、コミュニケーション強化を図った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された		やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価においては平均点が3.4から3.9、中央値が3.0から4.0となった。全体を通じて教育目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は必修科目であり、総合人間科学の基礎科目であることに鑑みると、DP/CP/カリキュラムマップとの内容妥当性は担保されていると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

到達度自己評価においては平均点が3.4から3.9、中央値が3.0から4.0となった。全体を通じて教育目標はやや達成されたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業は基礎的知識の習得であったため、2年次に向けて、より深耕学修ができるように指導を続けていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八木 康夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
生涯スポーツ	1	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講者は、学期の始講と最終講に体力測定と体組成の測定を行ない、授業の運動量と身体組成や健康度との関係の把握を体験させる。</p> <p>②実技中は受講生にカロリーカウンターを貸し出し、各授業時間の運動量（歩数、カロリー）を記録し、運動量と消費カロリーの把握させる。</p> <p>③始業から3回の講義時間を「筋力トレーニングの方法とトレーニング機器の使い方」、「持久性トレーニングの方法と心拍数を基準とした運動強度設定」、「ストレッチ体操の方法と実用」について講習を行い、授業外に、また生涯にわたり自ら運動を処方できるよう計画した。</p> <p>④各受講者は毎授業時にカロリーカウンターを装着し、目標を持って授業に望む様に促し、自己の運動量の把握をすることで、運動意欲を喚起する。</p> <p>⑤①および②について毎時間記録と評価を行い、期末でそれらをまとめて実習期間全体の自己評価を行わせ、健康度と運動量、体組成の変容と運動量、身体運動能力の開発の程度と運動量の関係が理解できるようにする。</p> <p>⑥生涯スポーツではチームのメンバーを種目毎に入れ替え、多数の人とコミュニケーションを取れるよう図った。チームミーティングを各試合前後に行わせ、チーム戦略立案、各自の役割、チーム員としてのポジティブな行動を実践させる。また、試合後のミーティングで改善点(課題)などをまとめ記録し、そのフィードバックの成果を実感し、チームで活動する意義を考えさせる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均76 (SD12.7) 再試対象者0人、80点以上2名 (6名中)。受講者が激減した。コロナ禍明け後の実技は敬遠されたように思われる。単位取得した学生は科目の目標を達していたと考える。しかし、1時間目ということもあり遅刻欠席が目立ち、それにより実技での評価点が落ちていた。</p> <p>受講動機；資格取得目的0%、興味関心80%、単位確保60%、GPA向上20%、友達受講20% →興味関心で受講を決めた学生が大半と好ましい状況といえる。</p> <p>達成度の自己評価；平均3.2～4.4 (4.0以上4項目/10)、高評価、自己目標の達成感を持った学生5名 (5名中) と高い。</p> <p>授業の質；平均4.0～4.2 (4.0以上5項目/5)、高評価である。他にプレゼンと討論の能力の育成を加えたい。</p> <p>学習量；授業外学習が殆どない。授業時に学習記録、運動記録、試合記録を行なっているので、完結した形になっている。学習の工夫の必要性がある。</p> <p>情報利用；シラバスは半数が参考になっている。シラバスの充実が学生を導く。</p> <p>図書館の利用；図書館やインターネットともに利用が低い。学習方法など調べて実行する課題が必要。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性について

本科目は「総合人間科学科目」であるが、自己の健康管理及び学生生活においても必須の基本的知識であり、また、生活信念、健康志向、美容的自己管理に関わりのある科目内容と考える。受講生は興味関心から科目を選び、高い成績を収めていたことから、妥当な内容と考える。

②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性について

成績評価から、内容的妥当性は十分あったと思われる。興味が高いので、もう少し内容を深く進めることができると考える。

③受講動機で内容に関心がある学生が多いが、「受講動機」が曖昧な学生も存在する中、「学習到達度の自己評価」は5名(5人中)が達成できたと考えており、本科目が妥当な内容であったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学習量の評価において、予習を全くしなかった者が0名(5名中)であった。

授業の関心の高まりを感じる。

シラバスを参考にした者が3名(5名中)、授業計画を立てなかった者が2名であった。シラバスの利用者は半数程度であった。

次年度に向けて、思考判断の行動目標をより具体的に示した上で、小テストの出題要点を事前に提示し、その内容を検討して授業に参加するよう促したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学習量の評価において、予習を全くしなかった者が2名(5名中)であった。

毎回授業で健康への関心が高まって健康的な生活を取り入れてほしい。

シラバスを参考にした者が9名(11名中)、授業計画を立てなかった者が2名であった。シラバスの利用者は3名(5名中)と少ない。

学生が健康へ興味を持って、生涯につながるスポーツライフの必要性を意識できる話題や内容を加味していきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
女性史	2	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史の学習を通して、現在に続くジェンダー問題の所在を確認することを重点化し、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回到女性史を学ぶ意味が「伝統」を疑う知的根拠を獲得すること、そのためにジェンダーの視点で歴史を見直すことを伝え、全講義の流れを、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までであること確認した。中学高校までの歴史の授業で得た知識を反芻することが授業準備になることを確認した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>明治から戦後に至る近代日本の女性史に関する基本的な知識を理解することを目標としていたが、歴史に関する基礎知識量や歴史的関心の差が学生間で見受けられた。最後の授業の総復習をして、ジェンダーの視点でみる近代日本の女性の位置づけを確認した。特に重要なポイントについては、各授業の課題を各自で振り返ることにより理解を深めるよう勧めた。授業評価では、授業後にネットで調べて考えた学生も存在した。試験の結果からみると、ポイントはおおむね理解している層が厚いものの理解不足の学生も一定数いることが確認された。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるよう、ネットで取得できる最新のデータを示した。また、テレビや映画、雑誌で描かれた女性像もネット動画で視聴できるものを活用し、時代背景を映像で確認するとともにジェンダーの視点で製作者の意図を考えさせた。おおむね内容的妥当性は認められるが、当事者性を持って考えるまでに至らない一部の学生は存在した。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

初回の授業で、通説となっている歴史観をジェンダーの視点で見直すと新たな歴史が見えることを伝えた。授業では近現代史が中心であるが、各自の高校までの歴史授業による知識量に格差がある点を踏まえ、インターネット上の図表や動画も使用した。複数学科で受講しており人数が多いため、双方向のやりとりが困難であることが昨年度の課題であった。今年度は、適宜、前回の授業課題レポートを取り上げ、コメントする時間をもった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

女性史は範囲が広いと、主に日本の近代史を中心に絞り、現在の女性の状況と関連付けて授業を進めたために、生徒の関心を現状のジェンダー課題、すなわち根深い固定的性別役割分担意識の原因である家父長制であることについて考えさせることができ、実感を伴いながら知識の理解を深められたと評価できる。今後は、日本の家父長制が根付いた経緯を古代・中世までさかのぼりつつ、世界史的な家父長制の歴史にも触れてその普遍性への理解を深め、現在の国際的なジェンダー平等の現状から日本の課題を改めて客観的に考えられるよう思考力を高めていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>文学という学問が今、なぜ、必要なのかという問いかけに始まり、文学が実学であることの意義、そして学生がそれぞれの専門を目指して学ぼうとする分野との関わりについて重ねて鑑み、自身のアイデンティティと切り離せないものであることをまずは、学ぶ。講義はそこからスタートする。そういったことをベースにして小説、物語、歴史書、古典、映画を見て感動することは即ち自分自身の人生を客観的に眺めていることと同一線上にあるゆえに、人間が生きてゆくための原動力となる探求心や想像力、感動する心を育てるエキシに満ちたことを基軸に据えて、文学を通して自身の生きてきた道をフィードバックすることにより、大切な知識を取得することを主眼とする。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>総合評価としては80パーセントは活かされていると思われる。学科の学生の特徴として非常に熱心かつ研究意欲もあり、課題に対する解答も標準値より高く、このような評価とみなした。提出したレポートからも評価している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目の位置づけから見た妥当性については、80パーセントは活かされ、応用力も身につき始めているように思われる。なにゆえに文学を学ぶかという問題提起に対する解答が、それぞれの学生に育まれていることが感想文を通して表明出来たことのパーセンテージである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

改善策としては、座学だけではなく、一人一人が自由発表が出来るような講義形態も工夫してみたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況の総括的評価としては、いささかむらはあるものの、関心を持って講義に臨む姿勢と80パーセントの達成率は高く評価できると思う。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高木 駿

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
人生と哲学	1	後期	選択	はい	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>webの質問アプリケーションなどを使い双方向のやりとができるように心がけた。また、資料については、文字を入れすぎず、シンプルで分かりやすいものを心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	「まあまあそうだと思う」、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」という回答が多かったので、「やや達成された」という項目を選択した。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムを設定する立場、あるいは、カリキュラムマップを作成する立場にないので、適切なことは言えない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケートにあるように目標達成については「まあまあそうだと思う」以上の回答が大部分を占めているので、基本的にはよい授業ができたと思う。次年度の授業がないため改善等については回答できない。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

総括的評価については、既述のとおり、基本的によい授業ができたということになる。次年度の授業がないため課題については回答できない。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
比較文化と国際理解	2	後期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目であるが、科目名自体は比較文化、国際関係、社会学と多様な内容を含んでいる。そのため本科目は、専門外の学科の学生にとっては具体的に何を学ぶかをイメージしにくいことが課題として挙げられる。今回の受講動機をみると「関心のある内容である」を動機とする回答が観光文化学科66.7%、福祉学科60%、英語学科に至っては20%となっており、どの学科も関心意欲がそれほど高いとは言い難い。このことは開講時点である程度予想がついていたため、授業では彼らの関心を高めるため、毎回の授業内容に関わる様々な「確認チェック」に答える作業を行ってもらった。</p> <p>②本科目の授業では専門的な用語が頻出し、授業内容の理解が困難となる学生が出るのが想定された。そこで毎回の授業の終りに授業内容のまとめ問題を実施し、授業全体の復習を行った。</p> <p>③比較文化に関しては授業の内容だけではイメージしにくいため、受講者達には「差別」そして「異文化対立」に関連する具体的な動画を見せた。さらにそれぞれの動画内容について学生自身の考えをレポート形式で書いてもらった。</p> <p>④授業では受講者にテキストを購入してもらい、授業の前に関連個所の予習をしてもらった。特にテキストの中にある日本の学校制度と徒弟制度の意義に関する論文を読ませ、その内容に対する賛否と理由を書かせ提出させた。小テストに関しては昨年度の課題として挙げた評価の明確化のため、採点后に点数を表記して返却し、質問のある学生に関しては個別に対応を行った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目受講者の最終的な成績の平均値は約84点であった。昨年度の平均値が80点であり、平均値の上昇が見られた。再試験対象となる学生は数名いたが、全員が標準的なレベルに達したと言える。</p> <p>学生の到達度自己評価に関するアンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という回答が4学科平均4.0以上であった。これに関しては本試験前に知識理解を高める小テストを2回実施したことが結果につながったと考えられる。学習量の評価では授業前の予習及び復習に30分以上かけた」と回答した学生の割合がどの科目も半数以上であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性

本科目は選択科目ではあるが、総合人間科学の共通科目の位置にある科目である。総合人間科学のカリキュラムポリシーには幅広い教養と異文化理解の基盤を養うことを方針としており、本科目はその方針からみても内容的には妥当であると考ええる。

②DP、行動目標からみても内容的妥当性

「知識理解」に関する達成度は3学科平均3.6であった。昨年度の平均値4.3よりは下がったが、総合成績の平均点は昨年度より上昇したため、成績評価および到達度自己評価の点では達成されたといえる。態度についても、レポート等の課題提出が遅れる学生はほとんどなく、レポート内容自体も一定の基準値以下はいなかったことから、内容的には妥当であったと考えられる。

③まとめ

以上から、「知識理解」に関する達成度の平均値が例年より若干下がったが、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生による授業評価においては、昨年度の課題であった「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の回答の平均値が3学科平均4.3以上と高い評価が得られた。一方で、「自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の回答については3学科全体の平均値が3.2と低かった。科目の内容的にグループ討論等を行う事が難しいが、内容に則したQ&Aやアンケートの実施を毎回の授業で行うことで改善の余地はあると思われる。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

前々年度からの課題である予習、復習含めた授業時間の向上、前年度の課題である小テスト評価の明確化については、いずれも昨年度より高い数値の回答が得られた。小テストの実施と事前予告は授業時間の向上に非常に効果的であり、次年度も引き続き行っていきたい。

課題としては予習、復習時間のさらなる向上が挙げられる。この点に関しては授業の中で行っている小テストの範囲を事前に予告することで、学生にこれまでの授業内容を積極的に復習してもらおう。またレポート等の課題についても、今年度は1回目の講義にて学生たちに「レポート・論文の書き方」という表題で講義を行う予定である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	韓 京我

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル発展	1	後期	選択	はい	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今回の受講動機をみると「関心のある内容である」90%、「単位数を確保する」70%との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組みたい。②授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを行った。その項目から受講動機、韓国語学習経験、知りたい事を把握した。③毎回小テストと会話練習を行い、学生の復習への意識を高め、学習状況を確認するようにした。④昨年度に示した改善計画では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由に「どのようなことをしたらいいか分からなかったから」もあったため、これについて復習項目と次回講義の予告をする事で自習を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は87点であり、再試験対象は0名であった。全員が標準的レベルに達し、理想的レベル（概ね80点以上）に達したものは、10名だった。目標別に見ると、知識理解に関しては87%、機能表現は90%であった。知識理解では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するか、また技能表現では、「私の一日」発表テストと会話テストの実施で、「知識を新たに得ることができた」と「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で高い満足度が見られ、講義の重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 試験の結果で見られるように第二外国語として目標とした成果を挙げられたので、内容的に妥当性があると考えられる。②DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。③まとめ以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進度は毎回行う小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。また韓国語の発表の時間や会話の機会などコミュニケーションを図れるよう努めた。最終テストでは全員の平均点が高く、語学の基礎的レベルには十分達したと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講義は、前期で身につけた基礎的学力を踏まえて、発展的な文法知識の習得と日常における実践的会話能力が備わることを目指しているが、講義の履修後にも韓国語を継続的に学習し続ける学生が少なくないなか、そうした学生が今後も多く現れ、韓国語によるコミュニケーション力をもってして日本と韓国の相互理解を深めていける人となれるよう、今後とも微力ながら努めていきたいと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	塚本 美紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
北九州の過去・現在・未来	2	後期	選択	はい	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「地域創生」の中の科目であり、2年後期に設定されている。北九州についての基本的な知識を外部講師の講演から学び、地域や国際社会の課題について、自分が学んでいることをどのように生かせるのかということを考えるよう授業を設計した。全学共通で講座が開かれているので、オンラインのポスターセッションを実施し、それぞれの専門分野のことについて互いに学び合える場も設定した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員の最終的な成績が標準的なレベルを超えており、到達度自己評価では1名の学生が「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目に対して「少しそうではない」と回答しているのを除いては、肯定的な回答をしている。また、レポートや発表なども、専門教育科目で学んだことこの授業内で学んだことが反映された内容になっており、教育目標は達成されたと考える。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

① CP, カリキュラムマップ上の位置付けからみでの内容的妥当性

本科目は総合人間科学の「地域創生」の中の科目で、2年前期に設定されている。大学がある地域のことについて学ぶとともに自分の学んでいる専門分野をこの地域でどのように生かせるかということについても考える内容となっている。学生の成績についても、標準的なレベルに達していることから、内容的には妥当であったと考える。

② DP, 行動目標からみでの内容的妥当性

DPの各項目について目標が達成されていることから内容的に妥当であったと考える。

③ まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価について、全ての学生が全ての項目について肯定的な回答をしており、平均値は4.2~4.6、中央値は4.5~5.0であったことから、授業の進め方については適切であったと考える。200名を超える受講生が発言する機会を作ることが難しかったため、アプリ等を使って学生が自分の考え等を授業中に表明できるようにしたり、Googleクラスルームやメールで常時質問等を受け付けるようにして対応した。一人一人の学生の反応を把握するのが難しいので、ほぼ毎回小テストを行なって、授業内容が学生に伝わっているかどうか確認しながら実施した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

最終的な成績や到達度自己評価から、地域のことについて学ぶとともに専門教育科目で学んだことを地域の中でどのように活かすかということについて考えるを通して、学びを深めていくという目標はある程度到達できたのではないかと考える。ICTの活用で大人数の授業でも学生一人一人の反応がわかるように工夫したが、さらに研究を重ねたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域プロジェクト	2	後期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2023年度「地域プロジェクト」は、英語学科との合同授業として進めた。地域を舞台に自分自身が活躍できるようになるために、地域の課題について追究することを目的とする。</p> <p>北九州は国連大学が認定するRCE(Regional Centre of Expertise on ESD)であり、公害を克服し、環境未来都市として様々な取り組みが産官学のみならず、草の根レベルでも行われている。この授業では、北九州の環境問題、地域の課題について学ぶとともに、企業・地域発展のための事業提案までのプロセスを学修・体験する。</p> <p>具体的な授業内容として以下を企画、実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北九州の地域の課題やESD、SDGsについて学ぶ</li> <li>2. 地域の課題について調査する</li> <li>3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施する</li> </ol>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。授業開始に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としては学生の理解度確認と進行状況を常に確認する必要性は前年度と同様である。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p> <p>また、授業の成果報告会を最終授業回に行った。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

企業とのコミュニケーションをベースとした課題の発見から独自の問題抽出・地域課題解決策の企画・提案という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

課題の発見から独自の問題抽出、地元企業とのコミュニケーション促進という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

課題の発見から独自の問題抽出、地元企業とのコミュニケーション促進という授業展開のプロセスは問題なく進行したと考える。学生の本授業に対する満足度から見ると妥当な評価と考えるが、何を求められているかわからないとの学生もいたため、オリエンテーションの充実を図りたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリア開発	1	後期	必修	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初回に、この授業で労働政策や福祉政策、企業の雇用システムとの関連において自身のキャリア形成を考える力を身につけること、多角的な視点でキャリア形成をとらえられるよう多様な外部や内部の講師を招いていることを伝えた。また、初回では、ジェンダー平等について説明し女性のキャリア形成を考えるうえでジェンダーの視点が欠かせないことを意識づけした。2回目で、主体的な意識で授業に臨めるよう、キャリアコンサルタント(外部講師)から学生と双方向的なやり取りをして、1年生の必須授業として受講を義務付けられているが受け身にならないよう工夫した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>メディアリテラシー、リーガルリテラシー、データリテラシーなど身の回り情報を読み解く力、自らのキャリア・デザインについて考える力は、各講義後の課題や、期末レポートで測った。特に、期末レポートでは、自分の望むキャリアにおける社会的課題を把握し、その解決方法について主体的に客観的に考えることができるかを評価した。レポート課題を出す際に、この評価基準を文書で説明し、キャリアをめぐる思考が個人的体験を根拠とすることにとどまらないこと、社会構造と関連づけることを明確にした。ほとんどの学生が基準を達成した。ただし、社会的課題の背景にある事象への言及が不足している学生が一部存在した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自分の望むキャリアにおける課題を把握し、その解決方法について主体的に考えることができることを目的に、キャリアについての個人の意識がどのように社会的に形成されてきたかを学術的な視点による現状の制度の分析や歴史的背景を解説した。また、多様な講師が講義をすることで、現状把握はより深まったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義で知識を得るだけでなく、外部講師の体験談を盛り込み、労働法では招聘弁護士が自身の関わった事件から法律を解説したり過労死された方の遺族から具体的な話を伺ったり、ほかにも子育てに積極的に参画するようになった父親の行動変容の体験談、本学卒業生の職業生活、キャリアコンサルタントによるワークショップなど、共感的に主体的に自身のキャリアの可能性や社会的課題を理解できるような内容となった。今年度は、学生とのやり取りも昨年度より多く取り入れて授業を進めた。各回の感想及び授業評価アンケートをみると、外部講師の話から刺激を受け、自分の関心のあるテーマでは自ら調べる学生もいた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

期末レポートなどから、概ね、学生が自身のキャリア形成について考える時間となったこと、自身の可能性について自信を持てるようになったこと、今後の学生生活の重要性に気づいたことは、評価できる。受講者人数が多いため個別対応がすべての学生とはできなかった。昨年度はより多くの学生に個人的な意見を聞くようにしたが、活発なやり取りの工夫が求められる。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
実践キャリアプランニング	2	後期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>※このリフレクションカードは、各学科の回答者数が少ないため、全学科を総合的にみて作成しています。</p> <p>キャリア関連の科目が多く開講されているため、シラバスの作成においては、他の科目とは異なる知識を得られると感じてもらえるよう意識している。受講動機として、「単位数を確保する」の他に「関心のある内容である」も多くなっていることから、その意図は一定の学生には伝わっていると思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>アンケートの到達度自己評価が全体的に良好な結果となっており、多くの学生が目標を達成できたと感じている。</p> <p>また、レポートにより成績評価を行っているが、多くの学生がこの科目で得られた知識と自分のキャリアを関連づけて考えることができていた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価のなかで、「(9) 職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」や「(10) 職業選択の参考になった」の評価が悪くないことから、キャリア科目としての目的は果たせていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

講義形式の科目であるため、授業の進行において特に問題となることはなかった。多くの学生が、授業時間外の学習にはあまり時間を割いていないが、専門科目ではないため、あまり学生の負担とならない方がよいと考えており、現状で問題ないと捉えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

アンケートの評価としては全体的に悪くなかったが、例年よりも履修者数が少なかった点について、学生の興味と本科目の内容が合致しているか、次年度以降も検討を続けたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ世界遺産	1	後期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学科の学生には地理を苦手とする者が多いが、地理の中でも世界遺産については興味を持っている学生が多いため、この科目をきっかけに学生たちが地理に積極的に取り組むように促すよう努力した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講生全員が単位の取得ができた。これはおそらく、この科目が開設されて初めてのことであり、特筆すべきことである。さらに受講生の半数以上が「秀」の成績であったことも高く評価したい。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本学科の科目の中心的な位置を占める旅行業務取扱管理者試験対策の科目の一部であり、科目の位置づけは妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

例年、多くの学生たちが地理を苦手としていたが、今年度はかなり意識して地理の部分を丁寧に説明した。そのおかげで、テストの結果を見ても地理の部分はよくできていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体的にはよくできていた。ただし、学生数減にともない以前よりは少ない人数での授業であり、今後、学生が増えても同様の結果が出るようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光産業論	1	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は、配当学年が1年生ということもあり、内容を理解しやすくした。</p> <p>毎回の授業では、レジュメを配布し、レスポンスシートを提出することにより、授業ごとの疑問点などを解説・共有することを心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は通常の講義方式となり、学生の発表の機会がなかったことにより、学生参加の項目において評価が低かったものの、その他の項目では授業評価なども高く、おおむね目標は達成できたと史料する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義は、観光を産業の側面から教授する内容である。アンケートによると、他講義で習った内容の復習になり、理解が深まったとの意見もあり、知識の定着を中心に一定の効果があったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

レスポンスシートを提出させることにより、学生の参画意識を高めるとともに疑問点の解消に役立てるようにしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

コミュニケーションスキルの項目が低かったため、次年度以降は授業内容を工夫したい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
航空産業論	2	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機において「関心のある内容である」と「単位数を確保する」が上位を占めているものの、DPおよびカリキュラムマップとあわせて、内容については妥当であると思料する。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は通常の講義方式であった。知識の習得などについては、評価は高かったものの、コミュニケーション力や表現力の点については、相対的に低い数値となった。外部講師の授業も取り入れたことなどにより、おおむね目標は達成できたと思料する。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

成績評価から知識理解に関しては目標に十分到達しており、DP/CP/カリキュラムマップに沿った内容であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケート内容により、学生にとっては、外部講師による講義が刺激的であったことがうかがえる為、引き続き実施していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価においては平均点が4.0から4.5、中央値が4.0から5.0と総じて高い値を示しており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ホスピタリティ論	2	後期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」85%、「関心のある内容である」25%、「単位数を確保する」15%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された			達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は83.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、意欲関心に関しては95%、態度に関する問題も95%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、意欲関心、態度の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、15%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から意欲関心、態度に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「ホスピタリティ論」となっており、インバウンド観光におけるホスピタリティを勉強しているので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が90%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が95%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「ホスピタリティ論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の意欲関心、態度を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
旅行商品企画論	3	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」83.3%、「単位数を確保する」60%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の9回目、10回目にグループごとにフィールドワークを行い、観光客のニーズに合った旅行商品の企画をした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は91.3点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては100%で、技術表現に関しては、100%であった。目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、技術表現での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、76.7%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価から知識理解に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「旅行商品企画論」となっており、観光客のニーズの変化を分析し、他地域と差別化できる九州の観光資源及び独特なもの・コトを考察し、九州におけるインバウンド旅行商品の造成を勉強しているの、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が96.7%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「旅行商品企画論」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。 また、学生の知識理解を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
観光社会学	3	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」65.5%、「単位数を確保する」75.9%、「友人が履修している」34.5%となっているが、もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は86.9点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、思考判断に関しては、96.6%、意欲関心に関しては、96.6%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、44.8%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「観光社会学」となっており、観光を捉える視点や方法を説明し、研究対象の新しい観光と多様化する観光形態を現代社会の動向に絡めて紹介する。また、観光社会学の事例研究の成果を解説する。

また、学生達の関心あることについて、話をする。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「説明は理解しやすいものであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が96.6%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が100%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある「観光社会学」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	井上 登美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
プライダル論	3	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>これまでの講義目標として掲げてきた通り、この教科名は「プライダル『論』」と示されているが、机上の空論にならないよう、その教科内容において受講学生の興味やモチベーションが持続させられるよう、できる限り多角的なアプローチを試みた。</p> <p>これまでの授業評価アンケートでは受講動機として「関心のある内容である」が特に多く、その結果を踏まえ今年度もシラバスに沿った授業計画、その時々付加要素として「視覚的に捉える資料の提示、興味の深度による対話形式」等を実施した。</p> <p>授業内では「視覚」「聴覚」を意識して、授業内における「学生と学生」「教員と学生」の一体感・空気感を共有できたのではないかと考える。</p> <p>毎回、授業後には、教科へのふり返り・質問・要望などの意味で、教科独自の「コメントシート」記入を実施、今回の講義内容へ加味した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>受講登録者は期初36名、そのうち2名が失効となり、成績評価対象者は34名となった。</p> <p>成績評価90点以上が5名 (14.7%)、80点以上が27名 (79.4%)、70点以上が2名 (5.9%) であり、平均点は86.3点、最高点は97点であった。</p> <p>授業5回目終了後、それまでの知識理解度を認識する為「ミニテスト (ミニとは銘打つが、設問100!)」を実施した。大半の学生が、意識をもってテストに臨んでくれたことがうかがえる。</p> <p>授業評価アンケートの回答率は100% (成績評価対象者34名) であった。</p> <p>「2. 到達度自己評価」では、すべての項目で「かなりそうだと思う」が一番高く、次いで「わりにそうだと思う」であった。「まあまあそうだと思う」を合わせ、全体の約95%以上 (設問 (1) (2) (3) (9) (10) では100%) が良い結果として捉えてくれたようである。</p> <p>教科の成績評価の中で大きな観点となる (数回にわたる) 「グループワーク～各プロジェクトチームによる課題の対応～コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上」を実施するにあたり、グループ学生間の内容のすり合わせやプレゼンの展開方法など、毎回の授業終了後に提出の「コメントシート」、グループによる「経過報告シート」、プレゼン終了後の学生による「採点シート (他チームのプレゼン内容に関する感想等)」に付記されたフリー記述からもわかるように、大きな「達成感」や「自己肯定感」を感じてくれたようであり、また結果として学生の成績も高評価へつながったのではないかと考える。</p>					
*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、 「学習到達度の自己評価」、 「学習量の評価」、 「学修のための情報利用」、 「図書館、インターネット利用」、 自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本教科は「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目である。

学生が興味・関心をもって選択・受講することが第一義であり、それを裏付けるようにまた今回も「1. 受講動機」として「③関心のある内容である」が回答者の82.4%をしめている。次いで「④単位数を確保する」が61.8%であり、合理的な側面も受講動機としてあげられる。

本教科についての内容的妥当性は、受講動機と照らし合わせ、学生の「2. 到達度自己評価」のすべての項目で100%が「そうだと思う」と回答しており、自由記述：「7. 担当教員への意見」からも感じられる。

知識・技術教育だけでなく、精神面も成長・育成できるような教科教育が目標であり、今年度はいくらかその方向へ進めたのではないかと感じている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの「3. 授業の質評価」において、すべての項目で「かなりそうだと思う」が最も高く、約65%～92%であり、次いで「わりとそうだと思う」、「まあまあそうだと思う」と合わせ100%の回答となった。特に、3. (4)「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会がつけられていた」に関しては約92%が「かなりそうだと思う」と回答しており「わりと、まあまあそうだと思う」をあわせて100%となった。

「論」という講義科目であっても、受講学生においては積極的に授業に参加し、課題に取り組む姿勢が感じられた。

特にグループワークを通し、資料収集や情報交換、ものごとに対する意識やコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上が認められた。

今回の授業を通しては、自由記述：「4. (4) 授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」や、「7. 担当教員への意見」からも、受講学生がこの教科を有意義なものとして位置づけてくれたようである。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「ブライダル」という専門分野に特化した「選択」科目であり、受講学生が興味・関心をもって受講し、モチベーションの持続を教科目標とした。

伝えたいこと、感じ・考えてほしいことを主軸に「論」の定義範囲を大きく解釈し、一方的（受動的）な形態にならないよう、多角的なアプローチを試みた。

学生の成績評価点や授業評価アンケートの回答結果から、教科の取り組みとしてその目標はある程度達成できたのではないかと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディアツアーリズム	3	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業ではこれまで学んでいる旅行関連の科目を中心とし、ICTの活用方法に興味を示し、観光者視点で制作物を作成するように構成した。さらにはコミュニケーション能力の育成もできるように授業を組み立てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	観光DXの知識も織り交ぜながら、観光業界のITCへの取り組みを身につけさせた結果、目標に準じた成果物を発表出来た学生がほとんどであった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

これまでに学んだ観光関連科目、情報科目の両方を兼ね合わせたものであり、内容的には妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

パソコン教室の利用により、個々人での取り組みが可能であり、特に問題はなかった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価においては平均点が4.3から4.5、中央値がほとんどが5.0と総じて高い値を示しており、全体を通じて教育目標は達成されたと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
消費者行動論	2	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「消費者行動論」は「マーケティング入門」と対をなす科目である。そのためシラバスでも同時履修を推奨している。この科目では企業マーケティングの基本である「消費者を知ること」を主眼としているが、消費者行動論を理解するためには、関連の専門用語の理解が必須である。その解説と理解促進に重点をおいている。授業テキストは特に用いていない。実際の企業経営の中心課題であることは周知の事実であるが、2018年度より本学科のカリキュラム「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置された。その為、学生の興味喚起のために観光・旅行系などの企業経営、自治体など団体組織におけるマーケティングと消費者行動理解を促している。また、消費者行動に興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用している。学習準備性については、上述のように企業組織・経営の基礎理論の初学学生にマーケティング・消費者行動への興味・理解をさせるために新聞・テレビなどの経済経営記事に慣れ親しむ事を学習準備として示している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>毎年受講生レベルが違い、毎週軌道修正しながら授業進行しているが、内容的に多少の難しさはあったと思われる。昨年度より授業開始時に前回授業の振り返りを行い、理解促進に努めた。改善課題としてはマーケティング入門の関連科目のため、双方の授業内容と進行状況を常に確認する必要がある。アンケートの到達度自己評価、授業の質評価項目についてみると、上記目標状況は「達成された」と考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本年度はできなかったグループワークなど授業の進め方については学生の興味喚起を目的に導入を考えているが、ディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標はやや達成されたと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題内容、レポート内容など工夫したい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ブランド戦略論	3	後期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ブランド戦略論は、企業マーケティングの重要な要素であるが、本学科カリキュラムには「企業とはなにか」「企業経営とは何か」「経営入門」等のマーケティング以前の基本カリキュラムが設置されているが、初学者のため企業経営におけるマーケティングおよびブランド戦略の役割の理解に重点をおいている。また、ブランドへの興味・理解を促進するため関連するコマーシャル、ビジュアル等をPPTに多用、理論的かつイメージ的に理解が進むような工夫をしている。学習準備性については、上述のように企業経営分野の初学学生にマーケティング、ブランドへの興味・理解を促進させるために新聞広告、CMなどの広告に慣れ親しむ事を学習準備として示している。また本年度の授業では、外部講師（資生堂、タカギなど）の授業を強化充実させ、ブランドひいてはマーケティングへの興味喚起を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	上記授業準備で述べた通り、初学者なため、あくまで「マーケティングにおけるブランドとは何か」への興味を促進することが大きな目的であるため、映像、ビジュアルなど多用しているが、アンケート内容から達成されたと思われる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機、学習到達度の自己評価、自由記述の意見より本科目自体の内容的妥当性はあると評価できるが、基本的問題としてマーケティング、ブランドの基礎知識としての経営学初学者のため精緻に評価できないが内容妥当性の面では達成できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

外部講師授業の導入、グループワークの導入など授業の進め方については前年度より強化充実を図り、問題ないと考えているが、今後はディスカッションを取り入れ、コミュニケーション力、表現力等の養成も検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目目標は達成されたとと思われるが、学習量0が受講生に多くいるため課題、レポートなど工夫したい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
デザインマネジメント論	3	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>デザインマネジメントは現在様々な企業が事業展開する際、デザインの考え方をそのマネジメントに導入しようという概念である。さらにはマーケティング特にブランド戦略論との親和性が高く、学生にもブランド戦略論との同時履修を促している。授業進行に関して重要視したのは、履修学生全員が初学者であるために学生の理解度の把握に焦点化した。そのため毎回授業コメント（感想、気づき、リクエスト、質問など）を提出させて理解度の把握に努めた。本年度は新しい試みとして小倉縞縞とのオンラインコミュニケーション方式を導入し、興味を喚起した。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前述の通り、新科目であるため毎週軌道修正しながら授業進行した。ワークショップ形式授業はできなかったが、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境の構築ができたので、今後も継続していきたいと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的により実践的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
経営学入門	1	後期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「関心のある内容である」62.5%、「単位数を確保する」62.5%となっている。もっと学生の関心を引き出し、シラバスの作成や授業の準備に工夫する必要があると思う。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目に小テスト（レポート作成と発表）を行い、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は89.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的なレベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関しては100%、意欲関心に関する問題も100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、31.2%であった。インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性  
成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心に関する達成度が理想のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性  
本科目は「経営学入門」となっており、組織とマネジメントの概念や役割等具体的な内容に触れながら、人の強み・弱み、マネジメントとイノベーションの使命や方法及び戦略について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛けるので、「観光産業界での就職」をつなぐ要の位置にある。学生も良い成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ  
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が93.8%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が87.5%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が93.8%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「企業での就職」をつなぐ要の位置にある「経営学入門」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。  
また、学生の知識理解、思考判断、意欲関心に関する力を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
簿記入門	1	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目におけるマーケティング・経営・経済に関する科目の一つである。3年次で学ぶ「ビジネスファイナンス」に橋渡しができるように簿記・会計の基礎知識の習得に力を入れている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケート中の「授業の質」という項目において（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、については平均点が4.3と高く、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、についても平均点が4.1、（3）説明は理解しやすいものであった、については平均点が4.1、（4）授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、については平均点が3.6、（5）口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目については平均点が4.0であった。以上より、本科目における教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目に位置付けられており、また、あらゆる業界の間接部門において簿記・会計の知識は必要であるため、このような授業の在り方は妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

在学中に簿記検定の資格を取りたいと考える学生もいることから、授業では簿記の基本的処理を中心に詳しく説明していきたいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

本授業の教育目標は達成されたと考えているが、次回の授業計画時においては「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会」を可能な限り作りたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ビジネスファイナンス	3	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目におけるマーケティング・経営・経済に関する科目の一つである。観光系への就職を希望する学生が多い本学科において、とりわけマーケティング、経営、経済科目に関心を示す学生は決して多くはない。この点はアンケート項目における受講動機において「単位数を確保するため」と回答した学生が67.6%に及んでいることから明らかである。しかし、本学科は金融機関への就職希望者も比較的多いことから、授業においては財務諸表とは何か、について詳しく、かつ丁寧に説明し、財務諸表の基本的な分析方法を習得できるように授業を工夫している。具体的には、実在する企業の財務諸表（主にP/L、B/S、C/F）を適時紹介し、その分析を通じて企業の財政状態や経営動向などを説明している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生アンケート中の「授業の質」という項目において（1）テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、については平均点が4.5と高く、（2）期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、については平均点が4.4、（3）説明は理解しやすいものであった、については平均点が4.4、（4）授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、については平均点が4.0、（5）口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目については平均点が4.2であり、すべての項目で昨年度を上回る数値であった。（4）については、上記（1）～（3）に比べてわずかながら低いものの、全体の平均点は高いことから本科目における教育目標は達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目に位置付けられており、幅広い業界において必要不可欠なファイナンスの知識および財務諸表分析などの、いわゆるビジネス実務を学ぶ機会を設けているため、このような授業の在り方は妥当であると考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

簿記の知識が全くない学生が多いことから簿記入門レベルの知識を適時織り交ぜながら講義を行う予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

4. で記述したとおり、本授業の教育目標は達成されたと考えている。しかし、次回の授業計画時においては「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会」を作り、より高度な財務諸表分析ができるように授業を展開していきたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	柳 純

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
国際ビジネス論	3	後期	選択	はい	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義では3年次配当科目であることから、専門性が高い内容を教授することを意識している。ただし、社会科学系の科目である点を考慮して、受講者の理解度を高めることを優先した。</p> <p>受講動機では、「単位数の確保」（75%）、「関心のある内容」（50%）、「友人が履修している」（37.5%）の順で高い結果となっている。関心のある内容も半数を超えているが、受講者の学習準備状況は1回30分程度の準備が「0回」が約43.8%、「1回」が25%、「2、3回」の約31.3%でほぼ占められており、課題を課した回やレポート提出に係る学習について説明を十分に行う必要がある。自由記述欄には「授業中に補えた」や「授業中に見直している」との意見がある一方で、「何をして良いかわからなかった」や「取り組む内容がなかった」などの意見もあり、授業の回ごとで理解すべき点やポイントとなる項目の整理を促すよう改善したい。</p> <p>以上の点を鑑みて、総合的に事前学習（予習）ならびに事後学習（復習）について、今後は量的な側面を意識しながら授業計画に盛り込んでいきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>25名の受講者の内、成績評価はSが1名 (4.0%)、Aが14名 (56.0%)、Bが5名 (20.0%)、Cが2名 (8.0%)、Dが2名 (8.0%)、失格1名 (4.0%)であった。この結果から目標を達成していた受講者が多いと思われるが、「授業の課題以外に学習に取り組んでいたか」との問いでは、11名 (約68.8%) が「していない」と回答しており、本講義に受講者が積極的に取り組んだ結果とはうかがえない点がある。</p> <p>また、到達度自己評価で「かなりそうだと思う」と「わりにそうだと思う」の割合が高かった項目は、「知識を確認、修正したり新たに得ることができた」と「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」と「自分なりの目標を達成した」であり、80%以上の学生が高い評価をしている。また「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」などの項目も75%の学生が自己評価をしている。本講義では平均値は3.6～4.3であったことから、目標はやや達成できていると考えられる。</p> <p>なお、情報利用の点で「シラバスの記載を参考にした」受講生は約81.3%と大多数を占めている。しかし、「図書館等の利用」では、図書館の図書利用は非常に少なく、むしろインターネットのホームページの利用が約56.3%と半数以上がネット利用で課題やレポートに取り組んでいると考えられる。その点は自由記述にある「気になったことを自分なりに調べた」との内容からもうかがえる。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本講義におけるDPのウエイトは、「知識・理解」(55%)、「思考・判断」(30%)、「関心・意欲」(15%)の順に高く設定している。受講者の到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり新たに得ることができた」や「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」等の自己評価項目が高くなっている。また、受講動機の中では「関心のある内容である」の項目の選択率が2番目に高く(50%)、講義内容も妥当であると判断できる。

ただし、「国際」に係る科目であることから、主たる受講動機の結果として「単位数を確保する」が非常に高くなっている点は、今後とも精査していく必要があると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

カリキュラムに示した「授業計画」通りに進めることができた。とりわけ、「授業の質評価」の面においては、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」や「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の項目が高いレベルで評価されている。

一方で「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目では、講義では積極的に設けていないところから、何回かの講義で取り入れるよう検討してみたい。

なお、学生の受講動機で最も選択率が高かった「単位数を確保する」ことも重要であるが、本講義では、受講者の関心度を高めることにも注力しつつ、基本的な当該分野の知識や理解度を高められるよう、平易な表現や映像(動画)を用いた事例を、講義内容に盛り込みながら進めていきたい。

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総合的評価と課題をお示しください。

総合評価として、目標は「達成できている」と思われる。しかし、各項目を見ると、受講者からは「少しそうでないと思う」との評価が散見される。とりわけ、「到達度自己評価」部分で平均値が低い「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」や「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」、「職業選択の参考になった」点を意識しつつ、国際展開している企業の概略紹介やビジネスモデルの特徴など、学生が就業する際に役立つ情報等を、講義内容に盛り込みたい。

また、受講者の講義内容への関心をより高めるために、事例を多く盛り込むなどして工夫を凝らしていきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	川上 耕平

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際関係入門	1	後期	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業の実施にあたって重点を置いたことは、当たり前なことではあるものの、わかりやすい説明を行い、講義内容への関心を維持してもらうという点である。この講義は政治や経済などを扱うが、高校時代に「政治経済」や「現代社会」を十分に履修をしていなかった学生が例年少なからずいる。そこで、中学生のレベルの話でも厭わず掘り下げて説明を行った。</p> <p>②履修者の受講動機でもっとも多かったのは、「単位数を確保するため」の80.0%で、「関心がある内容のため」は33.3%にとどまった。本来は後者の数字が高いことが望ましいが、年々単位を取ることを目的とする受講者が多くなっている。ということは、そもそも国際社会の動向に対する興味が薄い学生が多くなっているということであり、大学で話すべき専門的内容の説明に時間を充てることができなかった。</p> <p>③「学修準備性」という点に関しては、本講義が教科書を指定していないため、事前にレジュメを配った場合には、それを前もって読んできてもらうようにしたが、担当講師は、予習よりも復習に重点を置くことが肝要であるという方針を講義の冒頭で強調した。そこで、「授業を振り返るために、1回30分程度の復習をどのくらい行いましたか」という項目をみると、「1度もしなかった」という受講者が回答者数15名中3名いるということが判明した。パーセントにすると20%であり80%はそうではないのだが、この数値をあげるには、教員が復習の必要を毎回訴えてあげていくしかないと考えている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された		達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績評価は、宿題（30%）と学期末の試験（70%）としていたが、今年度は受講者の許可を得て宿題を小テストに変更した。理由は、講義内容の一部を変更したからである。これについても受講者の許可を得ている。なぜ変更をしたかという点、当時、イスラエルがガザ地区のハマスから攻撃を受けそれに対する報復をした行為が国際的に問題になっていたため、「国際関係」を扱っている以上この問題に関心をもってもらうことが重要だと考えたからである。つまり中東の国際関係を詳述したため、当初予定していた宿題とセットになる講義テーマは差し替えることになったわけだが、小テストについては、講義終了直後に行なったため、記憶が鮮明であるためか、受講者のほとんどが満点であった。期末試験については予定通り実施したが、平均点を計算したところ約76.84点であった。これは昨年の平均点である約79.93点よりも下がっている。ちなみに80点以上は、受験者19人（履修登録者は20人だがインフルエンザで1名不受験）のうち9人であった。69点以下はおらず、試験を受けた者は全員単位を取得している。</p> <p>「到達度自己評価」の数値でみると、この講義に最も該当するのは、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」という分野の数値であろうが、全員が「まあそうだと思う」以上であった。「全くそうではないと思う」と「少しそうではないと思う」はゼロであった。「到達度自己評価」の項目は総じて「全くそうでないと思う」と「少しそうでないと思う」と回答したものが少なく（「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」という項目で「少しそうではないと思う」が15名中4名いたが、語学系とは異なる本講義はそうしたことを達成目的とはしていないので、これについては否定的な回答が増えるのは当然と思われるものの、それを除けば、「少しそうではないと思う」が1名だけであった）。</p> <p>また、各回の講義でそれなりの量の文献を紹介しているが、「図書館利用」をみると、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」という項目においては、利用したのは回答者15名のうちゼロであった。指定図書などのかたちで図書館に置いていないので致し方ないと思うが、これは教員としても反省したい点であると考えている。教養としての読書の薦めを説いたつもりだが、成績評価とは関係のない本を読むことの大切さをこれからも訴えていきたい。</p>					
* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標>						
「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性  
この講義は国際社会に関心を持つための基礎知識を講じているが、観光を学ぶ学生にとってこの分野の知識がそもそも不可欠であろう。そして、この講義はそれだけでなく、外国語の読解にとっても必要な知識を毎回提供している。なぜなら、外国語は文法や単語を詰め込んだだけでは解釈することはできず、多岐にわたる背景文化についてそれなりに知識をもってないと、適切な日本語に置き換えることはできないからだ。そうした講義の姿勢が妥当だったかどうかを判断するには、「授業の質評価」を参照する必要があるが、「説明は理解しやすいものであった」という項目で、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答をした学生は1人もいなかった。「かなりそうだと思う」は回答者15人中3人、「わりにそうだと思う」は5人、「まあまあそうだと思う」は7人で、これは学生からそれなりの評価を得ていると考えていい数字ではないだろうか。強いて言えば、「まあまあそうだと思う」の数字を減らす必要があるといえよう。

②DP、行動目標からみた内容妥当性  
小テストの回答は、ほぼ私の講義を理解したことを示す内容のものが多かった。したがってDP2はそれなりに達成されたと考えている。DP3つまり意欲関心については、「2 到達度自己評価」の「(1)自分なりの目標を達成した」という項目をみると、「まあまあそうだと思う」(8人)、「わりにそうだと思う」(5人)、「かなりそうだと思う」(2人)であり(回答者15人)、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」がいなかったことから考えて、かなり達成されたとと思う。以上から、内容的妥当性については問題ないといえるのではないだろうか。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講者の自由記述の欄には、講義に対する改善要望が書かれていなかった。それ以外の項目にも、授業に対する不満を訴えるようなものはないように思われた。しかしながら、よりよい授業をやっていく取り組みは例年通り怠らないようにしたい。個人的に思ったことではあるが、コロナで遠隔授業に慣れた今の学生からすると、対面で長時間集中力を維持させることが難しくなっているのではないだろうか。いわゆるアクティブラーニング的なものを導入する必要があるかもしれないというのが反省材料でもある。

7. 総括的评价と来年度に向けての課題

達成状況の総括的评价と課題をお願いします。

今年度は、国際社会でリアルタイムに起きていることをとりあげることで(シラバスを一部変更することになったが)、この学問がアクチュアルなものであることを受講者に示すことができたと考えている。ただ、積極的に講義にコミットしていこうという姿勢を見せてくれた学生が思ったより多くなかったという反省もある。教員の側からすれば、来年度もいろいろと微調整していくべき点があると考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
フィールドワーク入門	1	後期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>フィールドワークは大学における研究の基礎ともなりえる授業である為、前半では座学を行い、後半では調査項目を作成し、FWの実施、結果分析、考察、発表を行った。 本年度は旦過市場をフィールドワーク先に選定し、それぞれのチームで調査を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。  &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価においては平均点が3.4から3.8となっており、全体を通じて教育目標はおおむね達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

フィールドワーク入門は専門科目であるものの、全般的な基礎知識が必要となる科目である。その点を踏まえると、1年次での配当を含め妥当であると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

到達度自己評価においては平均点が3.4から3.8となっており、全体を通じて教育目標はおおむね達成されたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

2年次配当の観光フィールドワークにつながる授業として、引き続き理解を深める授業を行いたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
イベント・テーマパーク論	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ツーリズムおよびビジネスの両コースに関連する科目である。そのためシラバスでもマーケティング関連科目、観光関連科目の積極的履修、あるいは履修していることを推奨している。この科目で両コースを選択している学生にとって関心のある科目のため、イベントの視点から地域活性化と観光の視点からのテーマパークを理論的、実証的に理解することを主眼としている。そのため北九州市内のテーマパーク運営会社及び広告会社の協力のもと、グループワークによる企画プレゼンテーションを取り入れてより実践的に理解できるよう工夫しているが、さらに本年度は個人での企画プレゼンテーションを追加実施した。テーマパークの企画・プレゼンテーションは学生の意見として充実度が高いとの感想があったため次年度以降も取り入れる予定である。授業テキストは特に用いず、担当教員の作成した配布資料で進行しているため特に予習は課していない。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの到達度自己評価と授業の質の結果によると上記目標達成状況は「達成された」が妥当と考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

内容的に外部講師授業やワークショップ形式授業を増やし、学生が積極的に学ぶことが可能な授業環境づくりの検討が必要である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科の特性上科目内容に興味を持つ学生が多いが、実践的な内容をどのレベルに設定すれば、学生がより積極的に学ぶことができる環境が構築が課題である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域活性化研究	2	後期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は地域活性化分野の応用科目であることから、地域の現状と課題を分析していく際に欠くことのできないデータ解析の手法を中心に授業をおこなっている。具体的には回帰分析（単回帰分析や重回帰分析）を通じて、与えられたデータをどのように読み解くかに力点を置いている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価のすべてにおいて平均が3.9～4.6と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) の教育目標および全体を通しての教育目標も達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述に「科目名が結構難しい内容かなと思ったが、慣れたらとても楽しい授業でした」等があり、また授業の質評価に関しても5つの項目すべてが平均値4.3~4.6となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、授業の質評価において、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の数値が4.0とやや低い値を示したので、この点を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域観光資源開発論	3	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は、地域の自然環境、歴史、文化、伝統などを深く理解し、その特性を活かした観光資源を開発するにはどのようなアイデアが求められるかという点を中心に授業構成を行っている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値が4.6、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値が4.5、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均値が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.4とそれぞれ総じて高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) について達成されたと判断できる。以上により、全体を通して教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

受講動機のうち「関心のある内容である」と回答した学生が63.6%であること、また学習到達度の自己評価の平均値も4.4～4.6となっていることから内容的妥当性はあったものと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において平均値が4.4～4.6であるため、次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にした授業構成を行う予定である。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

次年度以降も引き続き地域資源の捉え方、着眼点を中心にさらに充実した授業構成を行う予定である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	角谷 尚久

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ニューツーリズム論	3	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ニューツーリズムにおける概念をできるだけ実例を用いて説明するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	興味のある事例を映像を含めて紹介することにより、到達度自己評価の平均値もおおむね3.8-4.3となった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP/CP/7カリキュラムマップに基づいた授業であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においても中央値が4.0-5.0となり、学生の理解度も当初の目標に到達していると思料する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

ニューツーリズムは刻々と変化していくので、新しい概念を取り入れつつ理解度を高めたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
応用英語	1	後期	必修	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一年生の後期の必修英語授業である。1 受講動機は、① 必修科目である（選択率80%）、④ 単位数を確保する（20%）で、合計100%であり、受動的な受講動機となっている。授業はA,Bクラスで分かれて行ったが、授業評価（回答者24名）ではABの区別がないことを考慮する必要がある。学習準備性では、（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたかで、6回以上が13名であり、予習型の学習をしていた学生が半数を超えていた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は、Bクラスを見ると、A (22%)、B (28%)、C (22%)、D (22%)、E (6%) となっている。2 到達度自己評価では、10項目の平均は3.67であり、最低 (3.5) は、（9）職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた と（10）職業選択の参考になったであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由記述には批判的なものはなかった。一年前期の基礎英語を受けて、二年のマルチメディアイングリッシュ基礎（前期）への橋渡しの授業であり、二年のE Learning利用)の授業との関連でも、内容的につながっていく構成であり、一年後期にこの授業を配置することは妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価は、5項目の平均は3.8である。自由記述で学習量の評価については、多すぎる、少なすぎるという批判はなかった。(1)授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたか で、0回が3名いた。その層をどうやって減らしていくかが課題である。予習したテキストを授業前日までに写真撮影して、Classroom に送るという方法をとっている。この方法を継続して、語学は自分の将来の可能性を切り開いてくれるという話を語り続けて自主的な学習態度を涵養したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

6. でも示したように、予習を全くしない層を、どのようにしてゼロに持っていくかが課題である。担当教員へのコメントに「この講義が一番好きでした。二年生でも講義があるのでそれも楽しみです」とあった。ありがたいコメントである。総括的には、授業目的はやや達成されたと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
中級英文講読	2	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生15名、授業評価アンケート回答者7名。受講動機は④単位数を確保する(85.7%)、③関心のある内容である(42.9%)となっているので、ある程度は内発的な動機付けができています。習熟度の差は大きいが、全員が参加できる学習活動の割合が増えるようにしています。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は、A (33%)、B (20%)、D (20%)、E (20%)、J (7%)となっている。選択科目であり、意欲が高い学生が多かったが、放棄、再試験を受けない学生もいた。2 到達度自己評価 では、10項目の平均は3.97。					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

2年後期の英語の選択科目である。英語の必修科目と並行して受講している。この授業の受講生数が7名いるということは、必修科目での学びを更に発展させたいという意欲がある学生がいるということであり、そのような学生たちの満足度を上げるためにも、当科目が設けられていることは妥当である。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

3授業の質評価では5つの項目の平均は4.06。4 学習量の評価では(1)授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたかに対して、⑤6回が4名、①0回が2名となっている。予習ゼロの層がいなくなるように、予習を義務化し、それを見える化するようにClassroomで事前に提出させている。これを続ける。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

放棄、再試辞退の学生がいた。初回オリエンテーションで説明をしているが、それが伝わっていない可能性がある。せっかくの選択科目の履修であり、最期まで授業を受けて、単位を取ってもらえるところまでいけるように、丁寧な説明を心がけたい。総括的評価では授業目標は、やや達成されたと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
マルチメディア・イングリッシュ応用	2	後期	必修	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生37名、授業評価回答者26名となっている。2年後期の英語の必修授業であり、入学前の英語の習熟度の差が、そのまま2年後期にまで残ってしまっている。全員が参加できる内容、時間を増やせるように、E-Learning を使う授業を展開している。一人一人の英語へのコンタクト時間を増やすことができるという点では大きな利点があり、それを生かせるようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	やや達成された				どちらともいえない
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績は、A (12名)、B (12名)、C (6名)、D (5名)、E (1名)、放棄 (1名) となっている。学習準備性で、(1) 授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたかが、⑤6回 (9名)、①0回 (7名) となっており、予習ゼロが回答者中の26%ということは、極めて残念である。					
<p>*根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

③でも示したように、1年前期の基礎英語から並んでいる英語の必修授業の最後に位置する。英語の四技能の運用能力を伸ばす最後の必修授業であり、カリキュラムマップ上、妥当な配置と考える。到達度自己評価の10項目の平均は3.8。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

PCを使い、E-learningで学習をする時間帯があるが、PCの基本的な使い方という基本中の基本から指導をする必要がある学生がいる。長期の休みでPCに触れない期間があり、情報機器を使いこなすリタラシーがリセットされてしまう。これを防ぐには、夏休み、春休みでも、次の学期の関連授業で先取りの課題を出すことは可能かもしれない。授業の質評価の5項目の平均は3.8。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

習熟度別のクラス編成をしなくなった初めての学年(2023年度入学生)であり、その学生たちが2年生になってきた学年である。習熟度別クラス編成の時代の学生との比較を示すエビデンスはないが、どうも英語については上の層と、下の層が極端に別れたような気がする。下の層を薄くして、中間層以上を厚くする工夫をしたい。授業目標はやや達成されたと考える。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	野中 誠司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ビジネス英語入門	2	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目名の通り、ビジネス英語に初めてふれる学生を念頭に置いた授業を心がけた。受講生がイメージしやすいように、就職活動中の日本人学生が面接、内定、入社、想定される業務などを細かく説明している教科書を採用した。また英語のみならず、「ビジネス日本語」も取り上げて、実務の現場での使われ方など自らの経験に基づいて説明する時間も毎回設けた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成されなかった	やや達成されなかった			

  

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DP1の知識理解に関しては、中間試験の平均点が、30点満点中10.3と半分以下の得点結果になった。定期試験については、50点満点中26.7であった。特に定期試験については、中間で扱ったユニットも含めて第1回から第15回の授業で扱ったところまでを出題範囲と事前に何度も説明していた。指示内容を理解している学生は、中間試験の答案を修正して受験に望んでいたため、非常に高い得点が取れていた。その一方で、事前の指示内容を理解せずに、準備不足のまま低得点の結果に至った学生も数名散見され、いずれの試験でも受講者間で得点差が大きかった。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学習到達度の自己評価においては、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という設問に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択している点などから、内容的妥当性は確保されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

担当教員への意見などの自由記述はなかったが、挙手による積極的な発言（授業貢献）をしている学生が少し偏向していた点があった。貢献度は20点の配分に対して、平均が14.7で筆記試験の結果に比べると、概ね良好といえるが、発言をしない学生に対しては、もう少し踏み込んだ措置も講じる必要がある。具体的には、個別にメールなどで事情を説明したうえで発表を促す、もしくは発表できなくても筆記試験で結果を出すなど、こちらの意向を適宜伝えていくアプローチを行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

到達度自己評価における(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた、という評価項目に対して、ほぼ全員が「そうだと思う」を選択しており、ビジネス英語にまずは慣れ親しむ、という目標は達成できたと思われる。今後の課題としては、中間試験や定期試験前に復習する時間を設けて、試験対応も行っていきたいと考えている。残念ながら一部の学生に欠席過多が散見されたので、学科教務委員の先生だけをお願いするのではなく、担当教員が直接本人とメールでやり取りを行い、出席につなげるなどの改善を図ってきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	宮原 英利

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
エアライン英語	3	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>特に重点を置いたのは、通常、日常で使用、利用する機会がない英語表現が主であるため間違っ記憶しないよう注意したことである。従って、配布資料には本来の英語を表記し、航空会社の現場で使用する場合はパワーポイントにて解説と表記を行った。特に、使用する時と場所は重要であり言葉の記憶につながるよう配慮した。この授業の参考資料はほとんどなく、個人での事前学習が困難であることから、事前学習の指導が十分ではなかった点を踏まえ、今年度は、航空会社における時と場所で使用する会話や事象を、事前学習のテーマとして与え英訳してくるよう指導。これをもとに、授業の際、自主的に発表するよう促した。但し、限られた時間の中で解説を加えることは大変難しく恒常的に英語学習を継続することを促すにとどまった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・授業全体を通して、単位取得者が93%となっており、単に単位取得のための受講であっても、専門性の高い授業内容を概ね理解をさせることができた。と考える。</p> <p>・専門用語の理解については、小テストの実施で確認できた。（平均点数70点以上が16人中13人の80%）</p> <p>・実地で使用する英語表現力においては、多少知識の差がでており、今後、他の教科との連携が必要かと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

DP、行動目標から見ての内容的妥当性  
この科目は、航空業界にあっては必須の実用英語であり特殊であるが、今後の自身の方向性を十分認識して受講に臨んだ学生と単位取得のために受講した学生とが混在はしているが、成績評価から内容の習得ができており新たな方向性を見出した学生もいると考えられることから妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・この授業は特殊な英語表現を伴う実務英語であることから事前学習がしづらい面がある。前年度においては、航空業界に関する記事や経済の出来事から航空業界に与える影響などを考えるよう指導したが、あまり実績が出なかったことから、今年度は、実務英語の英訳を毎回与えることとした。結果、事前事後学習をしたとの評価があり、今後も継続して行うことが必要と考える。  
航空会社において、どの場面で一番英語を使用するかについては、会話であれば、予約業務、航空機内、チェックイン業務等がある。また、本講座で学習する特殊英語は、主に空港業務である。今回、習った英語が実際どこで使われているか実地に観察に空港に行った学生もおり関心の高さが表れている。  
・今回、授業の質評価でテスト・レポート・提出物の評価基準で4.2と高い評価を得た。これは、自己の成績の妥当性を認識するうえで重要であり今後も分かりやすい基準を提示していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

航空業界、旅行業界など、運送・サービス業界を目指す学生にとっては関心の高い授業と思われる。今回、専門用語の使い方や意味を理解する基礎知識の習得は概ね達成できたと考える。これからは、この知識を使って多様性のある表現の出来る英語能力を身に着けることが課題である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
初級中国語会話	1	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>入門中国語会話を習得した学生を対象とする授業で、中国語の発音の復習や学習方法を説明する。中心に中国語の発音、基本文法の学習、会話の練習を通じて、中国語の話し方、週間の表現などの特徴を理解し、基本応用能力を身につけてもらう。更に、中国語に対する理解を深めるために中国の歴史、文化などの事情を適宜に紹介する。</p> <p>学生に学習への意欲を高め、学習状況を確認するため、ユニットごとに確認テストを行う。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は85点であり、再試対象は0名であった。全員が標準的レベルに達したが、理想的レベル（概ね90点以上として試験作成）に達したものは、18名となった。</p> <p>学生による授業評価においてはすべての項目においては4、5以上と高かった。即ち、学生が非常に満足されていたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1, DP行動目標から見ての内容的妥当性

異文化、多言語の領域の成績は上昇したことから内容的には妥当であったと考える。

2, CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性

本科目は専門基礎科目をつなぐ要の位置にある。内容的には妥当であるとする。

3, 以上からの内容的妥当性には問題はないとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価においては、すべて4, 5以上と高い評価が示されていた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

専門基礎科目の入り口に当たる本科目の位置づけから、基礎的知識の形成については、概ね達成できたが、コミュニケーション能力においては課題を残した。この点は引き続き指導する必要がある。

学生に中国語で日記を書いてもらい始めているが、来年度により綿密に実施することをしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
コミュニケーション中国語	1	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. コミュニケーション中国語の概要及び達成すべき目標とは、「正確に現代標準中国語の発音を習得する。基礎的な文法を学び、初級の日常的な会話表現を養成する。中国語の学びを通して、中国の文化や風習などを知る」ということである。学生の「受講動機」においては④「単位数を確保する」の71.4%を除いて、②「資格取得に必要である」は14.3%で、③「関心のある内容である」は57.1%であった。このことから、本講義の目標を達成していたと考えることができる。</p> <p>2. 受講人数が7名で、語学の初級としてはちょっと少ないと思いますが、学生一人一人に対して十分に指導がとどいたと思っています。</p> <p>3. 「コミュニケーション力や表現力を高めた」は4.6の数値で、学生の意見や表現力が十分に到達したことが伺えます。今後の授業において、このままの状態を維持し続けて、学生間の会話できる場を増やしていくことを工夫したい。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. A評価は4名、B評価は3名で、最終的な成績の平均値は「80.5点」であった。標準的レベルを超えて、理想的なレベル（定期試験及び平常点の総合として80点以上）に達していた。</p> <p>2. (DP-1)の知識理解をみると、将来の地域社会を支えるための基本的知識、つまり国際社会で人と自由に会話を交わることができる能力を初歩的に習得していた。</p> <p>3. 学生による授業評価においては、授業に参加するために、1回30分程度で週2回復習を行っていた。また、授業の記録作成にも自分なりのノートを作成したという成果が見られた。 4. 自発的学習については、中国語の動画アプリやネットで関心のある内容を自ら調べて学習することは評価するべきです。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生の学習到達度評価をみると、①「自分なりの目標を達成した」は平均点4.3点、②「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均点4.7点、③「専門分野について、深めたい意欲を持つことができる」は4.1点であった。以上のことから、自信を持ち、新たに知識を得ようとする学生の姿勢は評価すべきものであり、内容的妥当性には問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 「授業の質の評価」について、値的にはかなり良く、特に問題はないと思われる。
2. 「授業の量」については授業外の学習は週に2回ほどが半数以上です。このままの状態を維持し続けてほしいです。
3. 「図書館やインターネット等の利用」は、授業関連内容はあまり利用しないことが見られます。今後、授業と関連している知識やデータも重要視すべきであることをもっと学生に喚起し、積極的に利用できるように促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. コミュニケーション中国語は選択科目であり、基礎知識の形成については概ね達成できた。
2. 語学の授業なので「話す・聞く・読む・書く」という4つの基本学習をしっかりと習得できるよう、毎回の授業でこれらの項目に合わせた内容を取り入れていきたい。
3. 授業で学んだ内容によって、国際社会で人と会話を交わせる能力を、身につけられるよう、養成していきたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	篠原 征子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム中国語	3	後期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目はツーリズム中国語および旅案内のノウハウを学習するものである。学習者に旅案内に必要な丁寧な言葉使い、はっきりとした発音を身につけ、中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解してもらうことに重点をおきました。</p> <p>②開講時に学習目標や学習方法、および評価方法を、毎回の授業に授業スケジュール及び予習・復習の内容を学生に明示することを心に掛けました。また、予習してもらった内容を必ず学生に発表してもらい、間違ったところを訂正し、分かりやすく説明するように努めました。</p> <p>③受講動機は「関心のある内容である」が80.0%であったので、学習者に14の場面において写真やイラストなどを使って、ガイド練習するように計画しました。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①学習者全員各課で学んだ知識を応用し、パワーポイントを使用し14の場面において自分が住む街などをガイドすることができました。</p> <p>②「学習量の評価」においては、選択肢⑤の6回を選んだ学生が最も多かった。</p> <p>③「到達度自己評価」の(1)、(2)、(7)、(8)、(9)の項目において、中央値はすべて5.0で、(3)、(4)、(5)、(6)においてはすべて4.0で、(10)は3.0である。</p> <p>以上3点から上記の評価は適切であると考えられます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容の妥当性

本科目は観光文化学科の専門教育科目であり、重要な位置を占めている。旅案内に必要な語学力やノウハウをしっかり身につけ、さらに中国人ツーリストに合ったホスピタリティを理解させることができた、内容が妥当であったと考えられます。

②DP、行動目標からみての内容的妥当性

「受講動機」として、「関心のある内容である」が80.0%で、「単位数を確保する」は60.0%であった。大多数の受講者は積極的に学習し、良い成績を修めることができました。

③「到達度自己評価」の(1)、(2)、(7)、(8)、(9)の項目において、中央値はすべて5.0で、(3)、(4)、(5)、(6)においてはすべて4.0で、(10)は3.0である。

以上から、内容的妥当性には問題はないと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方について、つねに学習者とコミュニケーションを取り、確認しながら進めることができました。

「授業評価の指標」の5項目の中央値は5.0であった。

以上から、授業の進め方に問題はなかったと考えられます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

「到達度自己評価」の(1)、(2)、(7)、(8)、(9)の項目において、中央値はすべて5.0で、(3)、(4)、(5)、(6)においてはすべて4.0で、(10)は3.0であることから、総括的に見て、高い授業効果が得られたと評価します。

来年度に向けての課題は、十分に予習・復習の時間が取れない学生を如何にして効果的に指導することです。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
欧米観光文化地理Ⅱ	2	後期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前期の「欧米観光文化地理Ⅰ」の受講生がそのまま受講しているため、彼女たちは授業の流れをよく理解していると思われる。そのため、この授業では、前期よりもなるべく多くのことを題材として取り上げて、資格試験取得の手助けとなるように心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績が「不可」となった学生は1人もいなかった。その上、約半数の学生が「秀」の成績であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当である。この科目は、総合旅行業務取扱管理者試験対策関連の科目の1つであり、他の関連科目では学ぶことのできない特に地理分野のことを学べるようにしている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生によるプレゼンテーションを取り入れたが、発表チームのメンバーの学力ややる気の差があり、それについて学生から不満が出ていた。差があるのは仕方がないとして、評価をする時に、チームのみならず個人の貢献についてどのように測って成績に反映させるのかを明らかにしたいと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

学生によるプレゼンテーションという新しい試みをして、授業の改善が図られたが、上記記載のように一部にはまだ問題があるため、そこを次年度の改善課題としたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
アジア観光文化地理 II	2	後期	選択	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 受講動機をみると「関心のある内容である」53.6%、「単位数を確保する」78.6%となっている。もっと学生の関心を引き出し、もっと多くの学生に履修してもらえるように、シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初の授業にシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③演習の7回目にレポートを提出してもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては85.7%、技能表現に関する問題は82.1%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、技能表現の観点での自己評価にあまり差がないことが示された。</p> <p>インターネットの利用に関しては、17.8%で、インターネットの利用については、さらに指導することを考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、技能表現に関する達成度が高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「アジア観光文化地理Ⅱ」であるが、「海外研修」をつなぐ要の位置にある。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が96/4%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が96/4%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が92.8%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「海外研修」をつなぐ要の位置にある「アジア観光文化地理Ⅱ」であるから、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。また、学生の知識理解、技能表現を高めるために、授業中に話し合う、発表を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
映画で学ぶ欧米文化	3	後期	選択	はい	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>なるべく難解なことではなく日常的な欧米文化を取り上げるようにして学生に興味を持ってもらえるようにした。観光文化学科のカリキュラムにおいて欧米文化を学べる科目が限定されているので、学生たちが欧米文化を十分に理解していないことを前提として授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	受講生のうちで「不可」となった学生が一人もいなかった。それに加えて受講生の半数以上が「秀」であった。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

妥当であると思われる。「観光文化」学科でありながら、文化を学ぶことができる数少ない授業であり、専門学校ではなく大学で観光を学ぶ上では、重要な科目であると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業中で十分理解したため授業外では学習しなかった」というコメントが複数あったが、できれば学生が授業に刺激を受けて自ら発展的な学習をするように仕向けたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

例年になく受講生の成績が良かった。受講生の学習態度が良かったことに加えて、昨年度から始めたキーワードを明示したプリントの配布が良かったのではないかと考えている。引き続き次回の授業でも取り入れたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論Ⅰ	2	後期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は北九州市総務局女性活躍推進課との連携で行った。受講生の関心度の高さが示すように間近に迫っている就職活動への準備喚起と何よりも学生自身のキャリアデザインの重要性、「働く意味」、「企業とは何か」を理解する点に重点を置いている。福岡県内特に北九州地域の様々な業界で活躍する外部講師によるリレー講義と担当教員によるキャリアデザイン理論で構成した。なお、本年度は就職課との連動・協力のもと授業展開した。外部講師は業界の現状、仕事での経験、就職活動のアドバイス（求められる人材）等の内容構成とした。授業での重点は学科特性と受講生の興味等を勘案しての講師手配である。この科目の性格上学習準備性は特に意識していないが、学生と外部講師（企業）とのコミュニケーションの取り方に配慮した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	アンケートの「到達度自己評価」から「達成された」が妥当と考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの受講動機、到達度自己評価（1）（2）から内容的妥当性はあると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

科目の性格上「授業の進め方」については各講師に一任しているが問題は無いと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学科特性と受講生の興味という点での講師選択は一定の評価はされていいと思われる。今後の課題として、インターンシップとの関連性（インターンシップ先企業への依頼等）があげられるため、同時履修が望ましい等シラバス表記の検討も必要である。  
昨年同様、本学就職課長をはじめ課員の方々に多大なご協力をいただき、滞りなく授業を運営することができた。この場をお借りして感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キャリアデザイン論 II	3	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業は就職活動を半年後に控えた大学3年生の就職・キャリア支援を念頭に実施している。具体的には業界研究や各自の自己分析をおこなった上で、ES（エントリーシート）作成の基本を理解し、集団面接・集団討論をどのように取り組みべきかについて詳しく説明している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	到達度自己評価によると、平均値が4.1～4.3と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) は達成されたと判断できる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

自由意見の記述をみると、「面接練習を通じて自分を見つめなおすことができた」との記述があること、また授業の質評価も4.3~4.4と平均値が高いため、総じて内容は妥当であったと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本授業では業界研究と自己分析をおこなった後、学生のESの書き方を指導し、また集団討論などの練習をおこなっているが、次年度以降は学習効果が高まるように業界研究の内容を工夫しようと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体としては教育目標は達成されたと判断できる。次年度以降については、さらに学習効果が高まるようにシラバスを作成したい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ツーリズム演習	1	後期	必修	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると、「必修科目である」と回答した割合が96.8%であるため、本授業ではテキストを通じてツーリズム分野全般の基礎的事項を中心に説明している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価項目の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.2と高いため、知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が3.7～4.0とやや高いため、思考判断 (DP2) から技能表現 (DP5) についてはやや達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標はやや達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケート項目における学習量の評価では「授業内容を聞いても理解できなかったところをインターネットを使って調べたりした」など、学生が自ら主体的に調べる動機付けになっていることから、授業の内容的妥当性はあったものと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

上記のように、教育目標はやや達成されたと判断できるため、引き続き次年度以降もさらに工夫した授業を心掛けたい。また、授業を受けるにあたりシラバスを参考としている学生が比較的小さいため、この点についても授業開始時に指示するなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本授業は、本学科が実施しているインバウンド観光研修や外国人観光客との異文化交流の基礎となるため、その点を常に意識し、次年度以降も教育目標を達成できるようにさらなる授業の工夫を行う予定である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域活性化演習	2	後期	必修	いいえ	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門教育科目における演習科目であるが、「地域活性化」という言葉は多義的である。そこで、授業計画においては、学生が地域活性化を学ぶ上で真に必要なことは何か、またどのような授業構成が最も教育効果があるかを念頭に構成している。具体的には「企業もしくは団体と学生がコラボして、一定の成果を生み出すこと」を目標とし、その過程においてさまざまな経験をすることをとりわけ重視している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>DPの平均値が4.1～4.5であること、また授業の質の評価においても、(1) テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった、(2) 期間内に行うべき学習の範囲や課題はあきらかであった、(3) 説明は理解しやすいものであった、(4) 授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた、(5) 口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた、という項目のすべての平均点が4.2～4.3であることが根拠として挙げられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目はDP、CPおよびカリキュラムマップにおいて専門教育科目の必修科目に位置付けられており、地域活性化に携わる人材を送り出す上で必要不可欠な経験を学ぶ機会を設けているため、内容的妥当性があると考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目の準備は後期になってからでは時間的制約が多いため、今後改善すべき点であると言える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

次年度もさらに教育効果を高めるためシラバスを通じて教育内容を工夫したいと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>4年次に取り組む卒業研究の準備に最も重点を置いた。具体的には、論文の書き方は当然のことであるが、特に独創的な論文を書くためのフィールドワークの技法を実践を交えて指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>全員が「優」と「秀」の成績であった。学生たちが期末に提出したレポートは、それまで指導してきたことをしっかりと取り入れていて、その上に独創的なものであった。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

2年次までに学んできた観光文化学科の科目の集大成のようなものであり、妥当である。学生もそれをよく認識していて、他の科目で学んだことをしっかりと活用して授業にのぞんでいた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

個性的な学生たちでグループ活動をとまなうフィールドワークに不安があったが、彼女たちのコミュニケーション能力の高さによりチームワークが見事にとれたフィールドワークができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

上記に記載のように、授業の要となる学生たちのチームワーク、絆ができたことが良かった。ただ、今年度は最も少ないゼミ生ということもあり、そこは差し引いて考え、人数が増えても同じようにできるようさらに授業の工夫をしたいと考えている。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%、「単位数を確保する」と「関心のある内容である」それぞれ28.6%となっているが、履修者が「専門演習 II」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあることが分かる。シラバスの作成に工夫する必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は94.1点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては100%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しても、100%であった。それぞれの目標がやや達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館の利用に関しては、42.8%で、インターネットの利用に関しては、57.1%で、学術データベースの利用に関しては、14.2%となっている。</p>					
*根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性  
成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度が高いレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性  
本科目は「専門演習Ⅱ」であるが、「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。

③まとめ  
以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が86%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「卒業研究科目」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。  
また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>マーケティング、広告宣伝、メディアの理解と課外活動体験を通してマーケティングマインドの醸成と4年次の卒業研究へのステップとして学生自身が計画を立案できる授業構成および就職活動準備指導に重点を置いた。また、課外活動の企画・プレゼンテーション準備も授業に取り入れ、「つなぐヒカリプロジェクト」では小倉商業高校で生徒に対する授業を履修学生自身が行い、プレゼンテーション、コミュニケーション能力などの向上に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学習到達度の自己評価、学習のための情報利用などの評価より「達成された」思われる。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

アンケートの学習到達度の自己評価、授業の質の項目については各項目について中央値以上の数値が認められるため達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

前年度の課題であった就職活動指導とマーケティング理論の基本的理解、課外活動との時間的配分は事前にオリエンテーションを行なったため計画通りに遂行できた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

科目達成状況としては概ね達成と評価するが、上記の通り、マーケティングの基本学習量の確保・向上と就職活動指導の計画の時間的配分が課題。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門演習 II	3	後期	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習は、卒業論文の作成を視野にそのテーマ決定のための準備段階として位置付けている。具体的には「観光ビジネス」、「観光経済」、「地域活性化」といった分野に関する国内外の論文を輪読し、議論を通じて知識の整理や理解を深めていくことに重点を置いている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.8であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.5～4.7と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価に関して4つの項目すべてが平均値5.0となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生が少ないことが目立つ。次年度以降は参考文献となる書籍も充実させるなど図書館の利用を勧めるなど検討課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	八尋 春海

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生によって卒業研究のテーマが大きく異なっているため、統一して指導すること、グループごとに指導すること、個別に指導することを意識して、授業を組み立てた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない	達成された	達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績は全員が「優」と「秀」であった。しかしながら、3年次から指導してきた論文の手法が十分に理解できていない学生が一部にいた。また、例年になく論文を書くペースが遅く、締切りギリギリに完成した学生もいた。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

卒業論文のテーマはゼミ内で多岐にわたっていたが、それでも全員が学科でそれまでに学んだことをベースにテーマを選び、思考し、執筆していた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

論文執筆の進捗状況が例年になく遅かった。大いに反省したい。毎回の授業で1週間で書いてきたものを提出させるようにしていたが、データではなく手書きで提出していた学生がそれを論文に反映させるのに時間がかかってしまったことが大きな原因だと考えている。次回は、データで提出させてそれを蓄積しながら論文にしていく方法に変更したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

結果的には全員が良い論文を完成させたことは評価できる。しかしながら、学生の一部にはそれまでの過程でうまく進まない者もいた。上述のように、次回は毎回の論文提出の方法を改善することによって同じ失敗を繰り返さないようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ゼミであり、学生相互が知的刺激を得る学習活動を行うように、議論の場を増やす工夫をした。4 学習量の評価（受講生9名中、回答者5名）では（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどのくらい行いましたかで、③2、3回（1回,3~6回）1人、④4,5回（2回,7~10回）1人、⑤6回（3回,11回）3人となっており、回答者全員が予習型の学習をしていたことが分かる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績は、A（4名）、B（5名）で100%である。卒業論文の質も学部学生として、研究の方法を一通り触れ、よく理解できていたということを示す仕上がりだった。学習量の評価の自由記述では、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として、「卒論でやるのが沢山あって大変だったから」とある。卒論が学習の動機付けであることは大きい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

一年後期からの演習・研究科目の体系の中の最後の科目であり、大学の授業の総仕上げとなっている。専門科目、総合人間科学科目の体系的な学びの成果を示すことが可能な位置づけであり、妥当な配置と考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

どうしても、就職活動が長期化する学生がいるので、欠席がちの学生が出てくる。研究の基礎を何度も同じことをすることになり、順調に進んでいる学生には迷惑となる。その対策として、オンデマンド型の教材も利用することも考える。2 到達度自己評価の10項目の平均は4.52、授業の評価の5項目の平均は4.6。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学習目標は達成されたと考える。ゼミを次年度は持たないが、持つようになれば、学生相互での知的刺激を受ける場を増やす工夫をしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	神崎 明坤

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業研究はこれまでに学んで得た知識とアプローチの仕方を活かしながら、学生各自がそれぞれの専門領域における学習の中で最大の関心事として選んだテーマを明らかにし、その問題への考察を深め、見通しをもって一つの仮説を立ててみる方法に習熟するのは学習の狙いである。したがって、本授業は、先行する研究の成果を収集する力、それらを批判的に理解する力、仮説を立てる構想力、仮説を論文として展開する力などを養うことに置く。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された		やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>学生による授業評価においては、目標別にみると、自分なりの目標を達成したことに 대해서는、全員が比較的に達した。知識を確認、修正、新たに得ることができたことについては、理想的レベルに達した。卒論を書くには論理的に筋道立てて考え、自分の言葉でわかりやすく、口頭及び論文をで述べる能力を習得できている理想的レベルにはまだ達していないが、標準的レベルに達している。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1, CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性

学科は卒業研究は4年間集大成の位置にあり、必修科目である。学生の成績を収めていることから、内容には妥当であると考ええる。

2, DP行動目標から見ての内容的妥当性、

学生が積極的に課題を考え、問題を思考判断して何を論述するかが確実把握できたことから成績は上昇したことも内容的には妥当であったと考ええる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、すべて4, 5以上と高かった評価となっているが、次年度に向けて、しっかりと確定しながら授業に参加するよう促していきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

卒論研究に当たる本科目の位置付けから、4年間の勉強の集大成の形成については、概ね達成できたが、この授業を履修する際にシラバスの活用などを図りたかったが、無視されていて、次年度しっかり確認してもらうことを促していきたい。また、毎回の狙いを具体的に示すことと可能な限り卒業論文を独特に考慮し、意識的に提示するように改善を行いたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	劉 明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機をみると「必修科目である」100%となっており、履修者が「卒業研究」では、何を学ぶかについて、まだよく理解できていないところがあるようで、シラバスの作成に工夫が必要があると思われる。</p> <p>②最初のゼミにシラバス内容の確認や学生との意見交換を行った。</p> <p>③月に1回程度、卒論の発表をしてもらい、学習状況と学生の意欲・能力を確認するようにした。</p> <p>④月に1回程度、就職の指導を行い、学生の就活に役立つスキルを伝授した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>最終的な成績の平均値は92.5点であり、再試対象は0名であった。全員が理想的レベルに達したと思われる。</p> <p>目標別に見ると、知識理解に関しては90%、思考判断に関する問題は100%、意欲関心に関する問題は100%、技術表現に関しては、100%であった。それぞれの目標が達成されたことを示している。</p> <p>学生による授業評価においては、知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の観点での自己評価に差がないことが示された。</p> <p>図書館に関しては90%で、インターネットの利用に関しては、90%で、学術データベースの利用に関しては90%となっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①DP、行動目標からみでの内容的妥当性

成績評価から知識理解、思考判断、意欲関心、技能表現に関する達成度がある程度のレベルに達していることが示されているし、内容的には妥当であったと考える。

②CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

本科目は「卒業研修」であるが、「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあり、必修である。学生も一定の成績を取っていることから、内容的には妥当であると考えます。

③まとめ

以上から、内容的妥当性には問題はないと思われませんが、教育方法をさらに検討する必要があると考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価において、評価が良かったが、「期間内行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」と思っている学生数が100%であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」と思っている学生数が100%であり、「口頭、文章など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」と思っている学生数が90%であった。次年度でも、引き続き学生が積極的に参加することが出来る機会・環境を作っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「活躍できる社会人」をつなぐ要の位置にあるとの位置づけから、基礎的知識の形成については概ね達成できたが、学生がもっと積極的に参加する機会・環境づくりを図りたい。

また、学生の知識理解、思考判断、技能表現の力を高めるために、授業中に課題を行う時間を増やすようにしたい。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	高橋 幸夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が各自で選択した卒業研究テーマについて資料収集し、それを自分なりの視点で分析できる能力要請に重点を置いた。学生も資料収集及びアンケート調査など例年になく制約を受けたにもかかわらず、各学生は2週に1回の研究進捗状況の発表に熱心に対応した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

学生個々のレベルさがあるのは当然であるが、アンケート結果によりDPはほぼ達成されたと評価する。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質の評価についてはやや達成されたとされるが、アンケートにおける学習量の評価、情報利用、図書館利用の低さは卒業研究自体の質に関わる重要な課題と考えられ、改善を要する。改善方については、課題量の検討、研究の質的な向上を常に意識させる。ただし情報利用、図書館利用についてはコロナ禍で制約があった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

達成状況はやや達成したと判断するが、上記で記述した学習量、情報利用等が課題である。

リフレクションカード 2023年度後期

学科	観光文化学科
氏名	池口 功晃

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
卒業研究	4	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本演習科目は1年間を通して卒業論文を作成・提出することを目標としている。具体的な指導方法としては学生の研究発表を通じて、論文目次の作成から先行研究の調べ方、論文の論理展開、参考文献の書き方などを中心におこなっている。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>到達度自己評価の「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という項目の平均値が4.7であることから知識理解 (DP1) は達成されたと判断できる。また、同じく到達度自己評価項目の「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」のすべてにおいて平均が4.3～4.8と高いため、思考判断 (DP2)、意欲関心 (DP3)、技能表現 (DP5) についても達成されたと判断できる。以上により、全体を通しては教育目標は達成されたと考えている。</p>					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

授業の質評価に関して5つの項目すべてが平均値4.8~4.9となっているため内容的妥当性はあったものと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方については、次年度以降も同様に実施する予定であるが、アンケートをみると図書館を利用した学生がやや少ないため、参考文献を充実させるなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

全体を通しては、教育目標が達成されたと判断できるため、次年度以降も同様に実施する予定である。